

告 稟

一、幼稚園及び小學校、家庭、育児、看護等に關する論說  
調査研究等の寄稿を歓迎いたします。  
一、寄稿は一行二十六字詰に記して下さい。但改行は一字  
下げること。また句讀點は一字あけること。  
一、寄稿並に本誌の編輯に關する通信、紹介及び寄贈の新  
刊、交換雜誌、入會手續、更に  
本誌の購讀及び廣告に關する通信並に照會等一切  
左記編輯兼發行所宛に願ひます。

東京女子高等師範學校附屬幼稚園内  
日本幼稚園協會

定 規 文 注

一、本誌購讀御希望の方は日本幼稚園協會に御加入下さい  
居所、氏名を明記し會費前金にて東京女子高等師範學校  
附屬幼稚園内日本幼稚園協會に御申込下さい。  
一、日本幼稚園協會員外にて本誌御注文の方は、  
(郵稅共)で願ひます。(郵券代用の場合には總て一割増)  
一、御送金の場合なるべく振替貯金で振替口座東京一七  
二六六番口ノ幼稚園協會宛に願ひます。  
一、本誌の代金に對しては別に領收證を差出しません。特  
に御入用の方は往復はがきで御申越を願ひます。  
一、會費切又は前金切の際にはその最終發送の雜誌の封  
に「前金切」の印章を押捺いたしますから其節は早速御  
送金を願ひます。  
一、本誌の見本御入用の場合には前金參拾五錢發送を願ひ  
ます。

定 價

一ヶ月分一冊	金參拾五錢	送料貳錢
半ヶ年分六冊	金貳圓拾錢	送料共
一ヶ年分貳冊	金四圓貳拾錢	送料共

(外國行郵稅は一部金拾貳錢の割にて御拂込下さい)

大正十五年十二月十日 印刷  
大正十五年十二月十五日發行

幼兒の教育 第二十六卷第十二號

不 許 複 製  
禁 轉 載

編輯兼發行者 堀 七 藏  
東京府豐多摩郡戸塚町大字戸塚五七五

印刷者 大杉 直次郎  
東京市牛込區山吹町一九八

印刷所 大杉 印刷所

發 行 所

東京女子高等師範學校附屬幼稚園内  
日本幼稚園協會  
振替口座東京一七二六六番

廣 告

特等面一頁 金參拾圓 二等面一頁 金貳拾圓  
一等面一頁 金貳拾圓 一頁以下御斷  
神田區南甲賀町八品田與松に御申込下さい

# 少年少女常識叢書



東京高等師範學校 府立師範學校 各中學校 女學校 學習院 教官分擔責任執筆

1	東京天文臺技手 古川龍城著	地震の知識
2	東京本郷中學校教諭 小松崎三枝著	植物の世界
3	元早大助教授	蒸気の偉力
4	東京女子師範教諭 川崎喜一著	火と空
5	東京府立一中教諭 白井勝三著	動物の生活
6	元東京天文臺技手 古川龍城著	星の世界
7	東京女高師教諭 中澤伊與吉著	興味の算術
8	東京女高師教諭 堀井七藏著	發明家の發見家
9	元早大助教授	瓦斯の魔力
10	東京高師專攻科 大瀧正寬著	人の行く道
11	學習院教諭 岡崎常太郎著	昆虫の世界
12	東京高師教諭 佐藤保太郎著	南半球の巡り
13	元早大助教授	無線電信、無線電話
14	東京本郷中學校教諭 小松崎三枝著	空中動物園
15	東京本郷中學校教諭 小松崎三枝著	海中旅行
16	學習院助教授 肥後盛能著	算術の知識
17	東京女高師教諭 金子彦二郎著	格言ものがたり
18	東京高師專攻科 鈴木鶴吉著	國語の知識
19	東京女師教諭 川崎喜一著	鐵と石
20	東京女高師助教授 藤英夫著	世界の氣候
21	東京女高師助教授 水谷年惠著	偉人の生涯
22	東京高師教諭 山本幸雄著	北半球の巡り
23	東京高師助教授 橋本為次著	飛行機の話し
24	東京女高師教諭 堀井七藏著	理化學實驗
25	東京美術學校講師 中川俊造著	寫生の樂み
26	東京府立一中教諭 白井勝三著	地下さぐり
27	東京女高師教諭 金子彦二郎著	現代常識辭典
28	學習院教諭 岡崎常太郎著	我等の身體
29	東京關口台校長 坂口龜輔著	鎌倉物語
30	東京五中教諭 田邊晋八著	心の算術

文部省 認定

東京高師茗溪會推獎 各都市教育會賞讚

東京市牛込區西五軒町三十四番地 發行所 文洋社

電話牛込四三六〇番 振替東京一五〇九四番

全三十三卷 定價各金壹圓 裝美判六四 數百十八頁前後 送料六錢 內容見本呈◆

序三物橋倉 授教師高女京東  
著史女ドゥトッア・ラノ 國米  
譯一定場馬 本日

# 理想の幼稚園

刊新最

四六版洋裝  
百八十餘頁  
定價壹圓五拾錢  
送料拾錢

□いかにせば保育の理想は實際化さるべきか□?

原著者の序 保姆養成所を修了した婦人が、いよ／＼幼稚園に行つて實際に  
 幼兒を自分の手で保育して行かねばならぬ事になると、誰しも今まで教はつた  
 知識は更に役に立たないで、どうしたらいいか、殆んど途方に暮れ勝なもので  
 あります。學校では新しい理論には、食傷して居る程でも、今となつて見れば、  
 大切な部分は大抵皆忘れてしまつて、度々ノートの御世話にならねばならぬの  
 であります。若し保姆さん達の爲に、一方には其の記憶を新にし、且つは幼稚  
 園の實際問題に關する根本的な事柄を蒐めるのがこの本の申譯であります。多  
 少でもこれによつて保姆さん達の見識を高め、其の仕事の助になる事が出来れ  
 ば幸です。云々……

我が國に於てもいよ／＼幼稚園令が實施されることとなりました。この際本  
 書が紹介されましたことは眞に喜ばしいことであります。本書は斯界の權威た  
 る倉橋教授が夙に推賞されてゐるものであり、また譯者馬場先生は現に京都市  
 に於いて幼稚園教育の有力な指導者であります。本書が如何なる光明を我が幼  
 稚園教育の上に投ずるかは多く問はずして明かでありませう。

町元城赤區込牛市京東  
院書教文  
三五三四四京東替振

(幼稚園に恵まれた童謡)

久門嘉祐作歌並戯曲

堀田 義 正作曲

堀田 影子 琴曲

# 新 童 謡

第一集

(附、童謡遊戯)

真に子供を知りて真の童謡を

産み真の遊戯を得、是純然た

る藝術と異なる所以でなければならぬ。

著者は斯界の専門家にして而も多年幼児の實際教育に浸り熱烈な

る研究を続け今回其の一部を發表せらる。

先生曰く「子供が生れて其第一聲「オギャアン」は謡である」と真に

童謡は幼児の生活である。



定 價 金 七 十 銭

(第二集續いて出版す)

所 行 發



東 京 小 石 川 区 指 ヶ 谷 町

## 館 ル ベー レフ

株 式 會 社

電 話 小 石 川 三 六 一 〇  
振 替 東 京 一 九 六 四 〇